

第十卷 第三号 (昭和三十二年二月)

論 文

アダム・スミスにおける賃銀……………小林 昇

一八七〇年代及びそれ以後の恐慌についての

マルクス、エンゲルスの見解(二)……………三宅義夫

蓄蔵貨幣論(二)……………小林威雄

民法におけるいわゆる

『公共の福祉』理論について……………宮川 澄

展 望

十二世紀の「金納化」問題……………近藤 晁

——ポスタンとレナードの論争を中心として——

昭和32年6月15日発行

河 西 太 一 郎

兼 者
集 行
編 発

十 条 印 刷 株 式 会 社

印 刷 所

立 教 大 学 経 済 学 研 究 会

所 所
行 行
発 発

立 教 経 済 学 研 究

第 十 一 卷 第 一 号

¥ 140 (〒16)

東 京 都 豊 島 区 池 袋 3 丁 目
立 教 大 学 経 済 学 部 研 究 室 内
電 話 池 袋 (97) 3121 (代 表)
振 替 口 座 東 京 2 3 6 4 0